

# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDG s 教育を推進しています。

さいたま市立

## 常盤中学校



本校は、「心豊かな中学生 自ら学ぶ中学生 活力あふれる中学生」を学校教育目標とし、生徒が主体的に将来を考え、未来を切り拓く力(TOKIWA PRIDE)の育成を図っています。そのためにもESD(持続可能な開発のための教育)を推進することにより、10年先、20年先を見据えた自身の生き方及び他者との共存について意識した生活が行える生活の在り方について、研究を進めております。



■所在地：さいたま市浦和区針ヶ谷4-1-9

■電話：048-831-3189

■メールアドレス：tokiwa-j@saitama-city.ed.jp

■交通：JR京浜東北線北浦和駅、与野駅より徒歩10分

### 01 虹のプロジェクト

生徒一人ひとりに活躍の場を与え、自己肯定感を高める



令和4年2月に佐野市立常盤中学校との交流会を行いました。

本校では、全ての生徒に活躍の場を与え、互いに認め合う活動を実践し、生徒一人ひとりに「自分は社会に必要とされている」という意識を根付かせ、現代社会の課題を自分事として捉え、他者と協働し、持続可能な社会を実現する新たな価値観や行動を生み出す力を育成しています。

なかでも、令和元年10月12日の台風19号で大きな被害を受けた佐野市立常盤中学校に対し、生徒会中心となって「同名校」として支援を行ったことは、両校の絆を深め、現在も交流を続けています。全ての生徒に自信をもたせることで、一部の生徒のための学校、一部の人のための社会ではなく、みんなの学校、みんなの社会という意識をもたせていきます。



### 02 地元企業と連携した商品開発

地元企業のリソースを活用し、中学生の視点を生かしたビジネス提案



令和3年11月に地元企業をお招きし、商品開発のプレゼンテーションを行いました。

2年生の総合的な学習の時間の中で、地元企業と連携し、SDG s を意識したお菓子の商品開発を行いました。地元企業からは、普段食べているお菓子が「どのように」おいしく安全につくられているか説明して頂き、地球上の課題を踏まえて商品開発を考えました。この取組をとおり、生徒の創造力や探求力の伸長を図るとともに、現代社会の課題を自分事として捉え、他者と協働し、持続可能な社会を実現する新たな価値観や行動を生み出す力を育成しています。

# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。



学校教育目標「よく考えて行動する生徒 思いやりのある生徒 はつらつとした生徒」

■所在地：さいたま市浦和区瀬ヶ崎 2-17-1 ■電話：048-886-4302  
■FAX：048-811-1337 ■交通：JR 京浜東北線北浦和駅徒歩 25 分

## 01 飢餓をゼロに！



昨年度は、9組が中心となり、「野菜くずをどうにかできないか」というテーマで活動を行いました。その中で、リボンベジタブル活動（通称リボベジ）という、再生野菜の栽培を中心に取り組んできました。カブの野菜くずを教室に設置して水耕栽培を行い、ある程度成長した段階で土のう袋に植えて成長を観察しました。うまくいったもの、いかなかったものもありましたが、3月に収穫を行えました。こうした取り組みを通じて、SDGs の目標2「飢餓をゼロに」に寄与できるよう取り組んでいます。



## 02 SDGsの大切さを学ぼう！



本校では、2年生の総合の時間に SDGs の全てのテーマについて学習しています。昨年度に引き続き、SDGs カルタの作成や調べ学習を通して、何を意識して生活していかなければならないのか考えを深めながら、17 の項目について興味や関心を深めています。



## 03 未来の私たちの生活のために！



本校では、廊下に SDGs に関するコーナーをつくり、掲示物を定期的に変更しています。具体的には写真やイラストを活用したり、クイズ形式にしたり、放送委員などと連携して生徒に周知させることで、興味関心を高めています。また、前年度に引き続き、アイシティ eco プロジェクトに参加し、目標12の「つくる責任つかう責任」を考えるべく、使い捨てコンタクトレンズの空ケースのリサイクル活動に取り組んでいます。昨年度の成果としては、約65kg集まりました。



# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

## さいたま市立 本太中学校

■所在地：さいたま市浦和区領家 1-4-15    ■電話：048-886-4305  
 ■FAX：048-811-1339    ■交通：JR京浜東北線北浦和駅徒歩15分

さいたま市立本太中学校では、主に総合的な学習の時間の中で SDGs 教育に力を入れて、実践しています。

今年度も、「未来へよりよく生きるための創造性を育む」という目標のもと、3年間を見通した年間指導計画を作成しました。主に1年生においてSDGsの基本的知識を学習し、「地球の課題」について考えを深めます。さらに得た知識を生かし、地球を救うために自分たちには何ができるのかを考える活動を行っていきます。SDGsの17の項目を達成するための、商品開発やアイデアを提示し、より「自分ごと」としてと捉えていくことが目的です。2年生では1年生で学んだことを生かしながら自分たちの生活を見直す学習を行います。そして、3年生では自分たちが将来生きていく未来のために、今の自分たちには何ができるのかということをも地域に発信していく活動を行います。「問題解決学習」と「未来創造学習」を軸に、ICTを活用した授業実践を行っていく予定です。生徒が未来をよりよく生きるために、今できることを考え、発信できるよう学校全体で取り組んでいきます。SDGsの知識や視点が軸となり、自分たちの将来や生活をよりよいものにしていくための工夫を考える時間とし、学校の中だけに留まらない学びや活動を実践していきます。

### 授業実践

各教科や道徳においても、SDGsの視点を用いて考えを広げています。各教科とのつながりや、既習事項を踏まえて学習を行い、自分たちにとって、身近で自分事として考えられるような授業を実践しています。



### 総合的な学習の時間

毎月の総合的な学習の時間での取り組みを年間で計画を組むことにより見通しをもった計画と、指導案等の蓄積を行い、次年度に生かしていきます。3年間を身通し、SDGsを土台に考えICTを活用して、調べ学習や発表を行います。

学年	1年	2年	3年
1年生	<b>1年：地球に生かすこと</b> 1学期：SDGsを学ぶ 4時間 問題解決学習 2学期：SDGsを学ぶ 4時間 未来創造学習 3学期：SDGsを学ぶ 4時間 未来創造学習	<b>2年：生かす場所をいかに広げるか</b> 1学期：SDGsを学ぶ 4時間 問題解決学習 2学期：SDGsを学ぶ 4時間 未来創造学習 3学期：SDGsを学ぶ 4時間 未来創造学習	<b>3年：未来をいかに創るか</b> 1学期：SDGsを学ぶ 4時間 問題解決学習 2学期：SDGsを学ぶ 4時間 未来創造学習 3学期：SDGsを学ぶ 4時間 未来創造学習

# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。



さいたま市立大原中学校

校訓『歴史を拓く』

くよき歴史と伝統を継承し、自らの力で新しい歴史を拓く  
学校教育目標 ○はつらつとした生徒 ○地域に輝く学校  
希望の登校 笑顔の活動 満足の下校



■所在地：さいたま市浦和区大原 3-1-1 ■電話：048-831-5397  
■FAX：048-835-1357 ■交通：JR 京浜東北線さいたま新都心・与野駅東口徒歩 20 分

## 01 主権者教育の視点からの生徒の主体的な取組の推進

「生徒たちの、生徒たちによる、生徒たちのための学校」という意識を高める教育の取組



本校は、各教科や学級活動での伝え合い活動の充実を図り、生徒自らが集団や社会の形成者として主体的に社会参画する力を育むことを目標としています。教科等横断的に伝え合い活動を充実させることで、課題解決に向けて物事を多面的・多角的に考察し、協働的に追究することで、合意形成する経験を積むことができます。生徒会活動や学校行事、部活動などの様々な場面で生徒が自発的に考え、議論し、課題解決に向けた行動に繋がっていきます。代表生徒による大原前進プロジェクトが発足し、生徒一人ひとりの学校参画意識を醸成して、生徒たちによる持続可能な学校創りを推進しています。



## 02 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善

すべての教科等の授業における伝え合い活動、ICTの活用の推進



本校は、予測困難な時代を迎える子どもたちに必要な3つのG（「自分を伸ばす力（Growth）」・「多様性を受け入れ協働する力（Global）」・「やり抜く力（Grit）」）を育み、主体的に進路選択することのできる生徒の育成を目指しています。効率的な双方向のコミュニケーションツールとしてITの活用や、プレゼンテーションの力を伸ばす方策の研究など、お互いの授業を参観して教職員が一丸となって授業改善に取り組んでいます。授業の中で生徒一人ひとりがタブレット端末を活用して、調べる・交流する・まとめる・発表する場面で役立てています。



## 03 開かれた学校づくりの推進

地域・保護者を行うボランティア活動の推進



本校は、見沼たんぼの西縁に位置し、自然豊かな環境です。すぐ近くを走る首都高の高架下には、ビオトープが整備されており、自然再生プロジェクト『ハンノキ・プロジェクト』に緑化委員が参加をしています。また、足立神社の落ち葉掃きボランティア、年2回の除草活動にはPTA・保護者の方々や部活動単位で多くの生徒が参加をしています。そして、地域のスポーツ施設や障がい者交流施設とも連携を取った活動をしています。大原前進プロジェクトでは、「自分たちには何が必要で、何ができるのか」を考え、議論し、具体的な行動へと移し始めています。

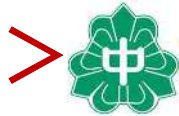




# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。



さいたま市立  
**浦和中学校**



本校は、さいたま市立浦和高等学校を母体校として平成19年4月に開校した併設型中高一貫校です。全校生徒240名が高校生とともにのびのびと学校生活を送っています。



- 所在地：さいたま市浦和区元町1-28-17
- 電話：048-886-8008 ■FAX：048-886-8555
- HP：www.m-urawa.ed.jp
- 交通：JR京浜東北線北浦和駅東口徒歩12分

## 01 併設型中高一貫校の特色ある教育活動



学校教育目標である「高い知性と豊かな感性・表現力を備

えた国際社会に貢献できる生徒の育成」の実現に向けて、中高一貫校として6年間をかけ、17全ての開発目標教育の実現を目指し、常に工夫改善に努め、試行錯誤しながら教育活動を展開しています。



- 中高合同行事（文化祭や体育祭等）
- 「さいたまSTEAMS教育」研究委嘱
- 中高合同教職員研修会
- 浦和中学・高等学校コミュニティ・スクール

## 02 高い知性と豊かな感性・表現力を備えた生徒の育成



「知性」「創造」「活力」をキーワードに、高い志をもって輝き続ける生徒の育成に向けて、特色ある取組を進めるとともに、高いレベルの教育活動を積極的に展開しています。



- 生徒一人1台PCの活用を軸としたICT教育の充実
- 高校教員による「つなぎ学習」による質の高い授業

## 03 国際社会に貢献できる生徒の育成



1年次から高校英語ネイティブ教員が授業を担当するなど、外国語教育を柱とした国際教育に積極的に取り組み、異文化と日本文化両方の理解を深め、社会のグローバル化に対応できる生徒を育成しています。



- 海外フィールドワーク（3年次オーストラリア7日間）
- Summer English Seminar（全学年）